



さくら会 だより

第38号 2014年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>



ボランティア交流会を開催しました!! ～日頃の感謝を込めて～

6月29日(日)、さくら会で活動していただいているボランティアの皆さんを囲んで交流会を開催しました。当日は梅雨の合間で良いお天気に恵まれ、25名の方々が出席して下さいました。開会にあたり、前田理事長からボランティアの皆さんへ感謝の気持ちを込め、挨拶をいたしました。(写真①)

そして、各部門のボランティア担当職員を紹介、平成25年度の活動報告の後、永年にわたり活動を続けていらっしゃる方々(団体2組、個人2名)への感謝状贈呈式もあわせて行いました。(写真②)(写真③)

今年のボランティアの皆さんの活動内容は、画像をご覧いただきながらのご紹介となりました。皆さんから、「画像を見ながらの説明がよくわかりました」「スライドが興味深かった」等の感想をいただき好評でした。(写真④)

懇談会では、職員とボランティアさんとの活発な意見交換が行なわれ、笑い声が絶えない和やかな時間が流れていきました。「大好きなのでまだまだ続けたい」「活動していて元気をもらって感謝しています」などのご意見も頂くことが出来ました。(写真⑤)

最後に出席いただいた皆さんと、記念撮影をしてお開きとなりました。(写真⑥)
今後もさくら会が、ボランティアの皆さんにとって気持ち良く活動できる「居心地のいい場所」となりますように、心がけて行きたいと思っております。



*さくら会のマーク
重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

生活のための自立支援の取り組み

ケアセンター南大井2階（介護老人保健施設：以下老健）

老健の役割は大別すると五つあると言われています。今回はその中の一つ「在宅生活支援施設」としての取り組みを、2階のご利用者*の事例を挙げて紹介します。

*90代・女性（当施設を複数回利用されています）

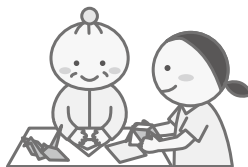
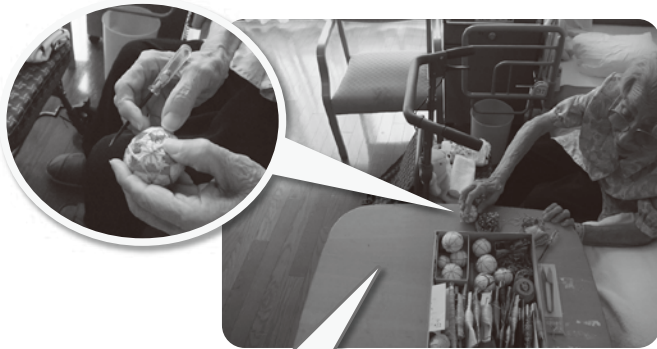


**生活もリハビリ！
できることは自分で！！**

いわゆるリハビリの時間以外のフロアでの生活の時間もリハビリに。



ご本人は「歩けなくならないように、たくさん歩きたい」と、日々のフロアでの時間でも職員と一緒に廊下で歩行練習をしています。



**ご自宅の階段についての練習は個別のリハビリで！
施設でも趣味は続けたい！**

生活の動作やリハビリだけではなく、自宅で行なっている趣味の「毬作り」が施設でも行えるように、お部屋の環境を検討・設定しています。

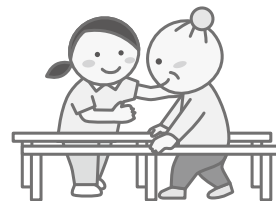


気分転換も兼ね、ベランダや屋上庭園も散歩しています。

ご家族からの声

病院では「階段は上がれない」「最悪寝たきりになる」と言われていた本人が、現在は2階で生活を送れるようになりました。利用してから、若々しく、穏やかに過ごせるようになりました。本人も「疲れるけどやらないと元氣になれない」とリハビリに取り組み、「ここはもってこいの場所だ」と、毬作りだけではなく、園芸クラブや植物観賞などの新たな趣味も見つけ、施設生活を送っています。

また、在宅生活の中では、どんなに仲の良い家族でもお互いにイライラしてしまう事がありますが、3か月の利用を反復して継続することでお互いの体調管理や気分転換にもなっていくと感じています。



※職員一同、これからもご利用者の個々の能力を見極めて、やりたい事を見つけ、やる気を引き出せるような支援ができる、そんな施設を目指して行きたいと思っております。



8月行事「夏祭り」

ケアセンター南大井通所

暑い日が続きましたが、ケアセンター南大井通所では恒例の夏祭りを8月5日（火）から一週間実施しました。

今年もメロン・レモン・イチゴに練乳とアイスのをせたカキ氷を提供させていただき、一時の清涼感を味わっていただきました。また、金魚すくいゲームでは、ご利用者どうしで大物つりを競い合う場面がみられました。

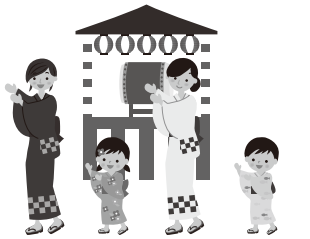
最後は職員が浴衣に着替えて、ご利用者と一緒に盆踊りを実施。祭りの音色に皆様ふるさとを思い出されたようで、ほろりとする場面も見られました。



▲かき氷を右からレモン、メロン、イチゴをそれぞれ堪能♪



金魚すくいゲーム
白熱中!!



皆で一緒に盆踊り♪▶

さくら会ヘルパーステーションの紹介

私たちさくら会ヘルパーステーションでは、南大井・東大井・勝島にお住まいのご利用者を中心に、その方々のご自宅を訪問し、身体介護や生活援助といった訪問介護のサービスを提供しています。

訪問介護は、訪問介護員がご利用者にとって身近な存在としてサービス提供ができ、施設サービスと違い、ご利用者と訪問介護員が1対1のサービスとなります。きめ細やかに対応ができることがご利用者にとってのメリットであり、ひとりひとりの訪問介護員のご協力でもあります。

今後も、地域で生活されている方々の「その人らしい生活」を少しでも支えていくことができるように努力してまいります。



「自衛消防技術発表会」参加



6月27日、都立大井心頭中央海浜公園陸上競技場において、大井消防署主催の「平成26年度自衛消防技術発表会」が開催されました。

さくら会自衛消防隊として、今年度から新調したお洒落なピンクのユニフォームで2号消火栓の部(七隊参加)に参加。

今回は、他隊が全て男性隊員編成の中、女性職員2名で大会に臨み、日頃の訓練の成果を発揮し、優良賞を受賞しました。

この技術発表会への参加を通じて、防災意識をより一層高め、ご利用者さまが安心してご利用頂ける施設を目指してまいります。



祭 第13回やむのまつりのご案内



日時 平成26年11月2日(日)
午前10時～午後2時

場所 社会福祉法人さくら会
南大井高齢者保健福祉複合施設

品川区南大井5-19-1

内容 作品展示及び販売 手芸体験

ミニバザー 模擬店 スタンブラリー
縁日 園芸販売・体験寄せ植え
ステージ他

(内容は都合により変更になる場合がございます)

協力 大井第一町会連合会



品川区大井第一地域センター

社会福祉法人 品川区社会福祉協議会

社会福祉法人 品川総合福祉センター

社会福祉法人 福栄会

今年も町会などの皆様のご協力を頂き、さくら会まつりを開催致します。



皆様に参加頂ける企画を色々準備しておりますので、お誘い合わせの上、お越し下さい。

※駐車場がございませんので、

公共の交通機関をご利用下さい。



職員リレー⑮

大井林町地域密着型多機能ホーム
介護職 青木 政克

平成24年10月より、大井林町倶楽部で勤務しております。一児の父です。昨年の夏休み、四年生の娘が「蛇を飼いたい」と言い出しました。

餌の問題をはじめ飼育の難しさを説いたのですが、決意は固い様子。

「それならば」と全面バックアップ体制、ジャンク品のゴルフクラブを捕蛇棒に改造し、神奈川・群馬にスネークハンティング。

何とか小さなアオダイショウを手に入れて、冬眠を乗り越え一年目。



「目指せ!! 二メートル!!」などと叫びつつ、娘の将来が心配な父なのであります。

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013

品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会宛

次回の発行予定は、平成27年1月です。